

特集 節電アクション

— エコライフで環境にやさしい夏を —



今夏の電力需給について政府は、昨年よりも非常に厳しい需給状況であるとし、「無理のない範囲で、できる限りの節電」を呼び掛けています。数値目標は設けていませんが、中部電力管内は4.1%の節電(平成22年度比)が目安となっています。

今回の特集では、家庭ですぐに取り組める節電・省エネ方法を紹介します。毎日の生活に取り入れて環境にやさしいエコライフを送りましょう。

問 環境課 (内線254)



エコドライブ10のすすめ



地球と財布にやさしいエコドライブを始めましょう。ちょっとした心掛け一つでCO₂排出量の削減につながります。

1 ふんわりアクセル
[eスタート]

4 エアコンの使用は
適切に

8 不要な荷物は
降ろそう

2 加速・減速の
少ない運転

5 無駄なアイドリングは
やめよう

9 他車の走行の妨げと
なる駐車はやめよう

3 減速時は早めに
アクセルを離そう

6 渋滞を避け、余裕を
持って出発しよう

10 自車の燃費を
把握しよう

参考 「エコドライブ10のすすめ」(エコドライブ普及連絡会制定)

土岐市の事務・事業に伴う 温室効果ガス排出量の公表

市では、平成14年度に「土岐市地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。平成25年度の温室効果ガス総排出量は26,661 t-CO₂(二酸化炭素換算値)で、前年度比3.7%の増加となりました。電気の使用については前年度比2.2%削減できました。市役所では、照明の引ききり点灯、不要な時間帯の消灯、フルビズなどを行い節電に取り組んでいます。

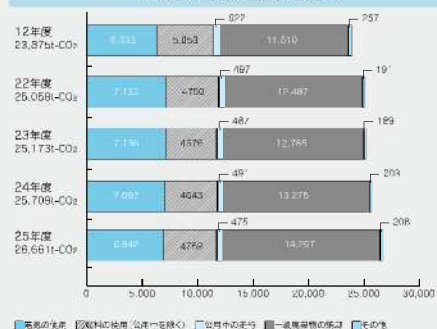
また、一般廃棄物の焼却による温室効果ガスの排出が半分以上を占めています。ごみの焼却量を減らすよう、3Rの推進やごみの分別など市民の皆さんも、積極的なご協力をお願いします。

平成25年度温室効果ガス総排出量

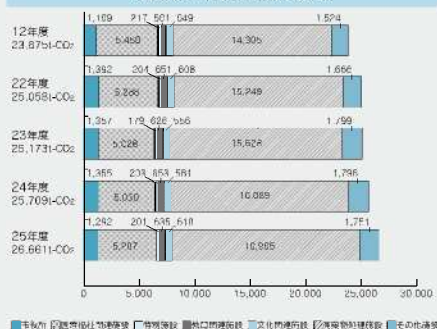
その他 0.78% (209t-CO₂)



活動別年間排出量の変化



施設別年間排出量の変化



家庭の節電メニュー

高いお金を掛けなくてもすぐにはできる節電の方法を紹介します。無理のない範囲で、できる限りの節電にチャレンジしましょう。

エアコン

- ①室温28℃を心掛ける(設定温度を2℃上げた場合) **削電効果 10%**
- ②すだれやよしずで日差しを和らげる **削電効果 10%**
- ③無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使う **削電効果 50%**

冷蔵庫

- ④設定を「強」から「中」に変え、食品を詰め過ぎないようにする **削電効果 2%**

照明

- ⑤日中は不要な照明を消す **削電効果 5%**

テレビ

- ⑥画面の明るさを抑え、見ていなければ消す **削電効果 2%**

温水洗浄便座

- ⑦温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する **削電効果 どちらかで**
- ⑧⑦の機能がない場合は、コンセントからプラグを抜く **削電効果 1%未満**

ジャー炊飯器

- ⑨早朝に1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する **削電効果 2%**

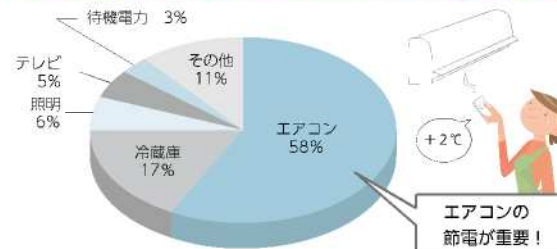
待機電力

- ⑩本体の主電源を切り、長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜く **削電効果 2%**

外出しているときにも、④⑦⑧⑩の対策に取り組みましょう。

※在宅家庭の日中の最大使用時(午後2時・1200W)に対する削減率の目安です(資源エネルギー庁推計)。

夏の午後2時の家庭での電気機器使用例



エアコンの節電が重要!

熱中症に注意!

冷房の設定温度を控えめにし、部屋の中の温度が高くなった場合など、屋内にいても熱中症になることがあります。

- ★小まめに水分と塩分を補給
- ★適切な室温管理